カベピタ浴槽

734S1846BJ

ホームバス
取付設置説明書

型　式	HK-1072A7-1L(A)-L/R
	HK-1072B7-1L(A)-L/R

設置をされる方へのお願い

●この浴槽を正しく安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよくお読みいただき、指定された設置を行ってください。
●本書ならびに「取扱説明書」(保証書付)は、お客様に必ずお渡しください。
●この取付設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
●当社の定める設置要領を逸脱しない据付に不具合(瑕疵)が生じ、設置者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマーク証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
●BL保険制度や当住宅部品の設置要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(http://www.cbl.or.jp/)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング(TEL03-5211-0559)でもお受け致します。
●この浴槽は、専用の浴室暖房・乾燥機能付給湯付風呂釜と、切替ユニット、暖房端末機、暖房用エプロン、端末取付金具セットをセットでご使用いただくことで、浴室暖房機能をご利用いただくことができます。
●さらに換気扇リレーセットと市販もしくは既設の「換気扇」をセットでご使用いただくと、浴室暖房・乾燥機能をご利用いただくことができます。
※換気扇がないと、乾燥・換気運転は機能しません。(正常に動作しないときは、お客様とご相談の上、換気扇を交換してください)
●乾燥運転を正常に機能させるためには、換気風量 1.5m^3/ 分以上の換気扇が必要です。浴室に換気扇が設置されていない場合や換気風量が不足した換気扇をご使用の場合は、前記風量相当の換気扇を準備、施工(交換)してください。換気扇の選定や施工については別途お買い求めの販売店にご相談ください。
(選定機種例:日立換気扇 DS-10BH(-BL))
●浴室暖房・乾燥機能付給湯付風呂釜の設置工事に関しては、給湯付風呂釜の設置工事説明書をご参照ください。
●この浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上、許可された処理場にて処分してください。
●取り替え等で古い浴槽を処分する場合は、浴槽の材質を確認してください。
その後、許可を受けている処理業者に処分を依頼するか、破砕の上、許可された処理場にて処分してください。
なお、行政の条例等で処理方法が定められている場合は、そちらの指示に従ってください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◎表示マークについて
表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

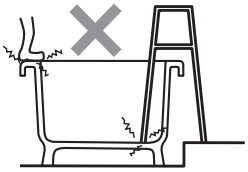
⚠ 注意	**この表示の欄は「軽傷を負うことや物的損害のみが発生することが想定される」内容です。**

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意　味
⚠	気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
🚫	行ってはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

安　全　上　の　ご　注　意

⚠ 注意



浴槽の上に乗って作業をしないでください。
足をすべらせたり、浴槽が転倒してけがをするおそれがあります。また浴槽が破損するおそれがあります。

浴槽固定金具は、指定された位置に必ず取り付けてください。
また、浴槽設置時に浴槽固定金具同士を確実にネジ止めしてください。
浴槽が転倒してけがをするおそれがあります。

浴槽に組込まれるシャワーセットや循環パイプの接続金具は、それぞれの説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
取り付けが不完全な場合、水が漏れ、家財を汚したり、腐らせたりします。

給排水管の接続は、必ずシールをしてください。
水漏れにより家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。

取付設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。
誤った使い方をすると人体に影響がでたり、使用部材の劣化や損傷の原因になることがあります。

取扱・設置上のご注意

⚠ 注意

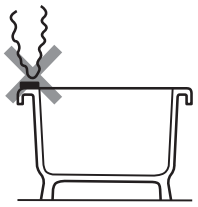
浴槽の運搬は二人以上でしてください。
浴槽を落として破損するおそれがあります。

運搬中に浴槽をぶつけないでください。
傷が付いたり、破損するおそれがあります。
特に排水口部分は、破損すると水が漏れるので注意してください。

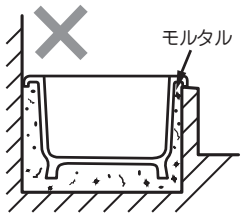
浴槽はガタつかないよう、必ず水平に設置してください。
浴槽が転倒してけがをしたり、浴槽内に水が残る場合があります。
また、脚部の水平調整は、強度のある材料で行ってください。

浴槽の上縁面や内部にものを落としたり、著しい荷重をかけないでください。
傷が付いたり、ヒビが入って水が漏れ、家財を汚したり、腐らせたりします。

浴槽に火をあてないでください。
表面が変色したり、劣化を早めるおそれがあります。

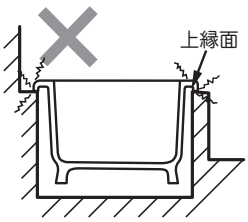


浴槽周囲にモルタル・砂などをつめないでください。
浴槽が傷む原因となります。



浴槽表面やエプロンをタイル洗いの塩酸などを含んだ洗剤や、その他の溶剤で拭かないでください。
表面が傷みます。
もし、かかった場合はすぐに水で洗い流してください。

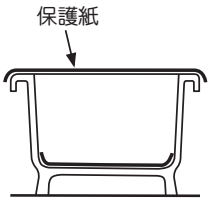
上縁面で浴槽を支える設置をしないでください。
浴槽に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。



浴槽は据置き用です。
埋め込み設置はしないでください。

排水栓の下に物を置かないでください。
排水栓が閉まらなくなり、水漏れを生じるおそれがあります。

取付設置中は浴槽におおいをし、保護してください。
傷が付くおそれがあります。

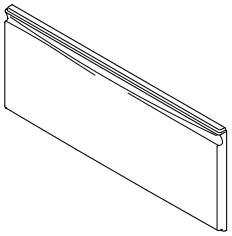
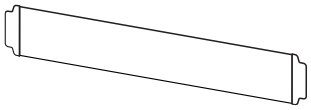
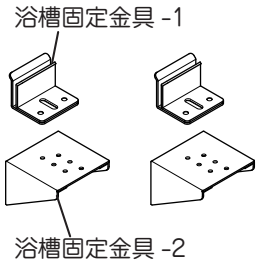
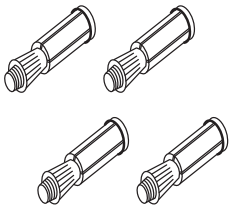
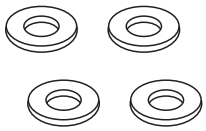
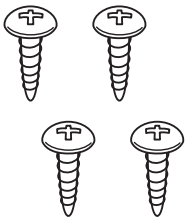
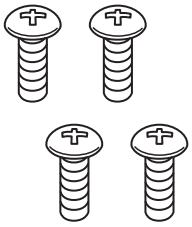


仕　様　に　つ　い　て

⚠注意

・本記載内容をよくお読みいただき設置してください。
・浴槽側面に設置されている金具を持って浴槽を取り扱わないでください。
金具が外れたり、浴槽が破損するおそれがあります。

■ 付属品

	 A7-1LA,B7-1LA のみ		
エプロン × 1	アジャストカバー × 1	浴槽固定金具 -1, 2 ×各2	AY ボルト × 4
			取付設置説明書　取扱説明書（保証書付）
平座金 × 4	φ4×16 薄板用タッピンネジ × 4	M4×8 小ネジ × 4	取付設置説明書・ 取扱説明書（保証書付）×各1

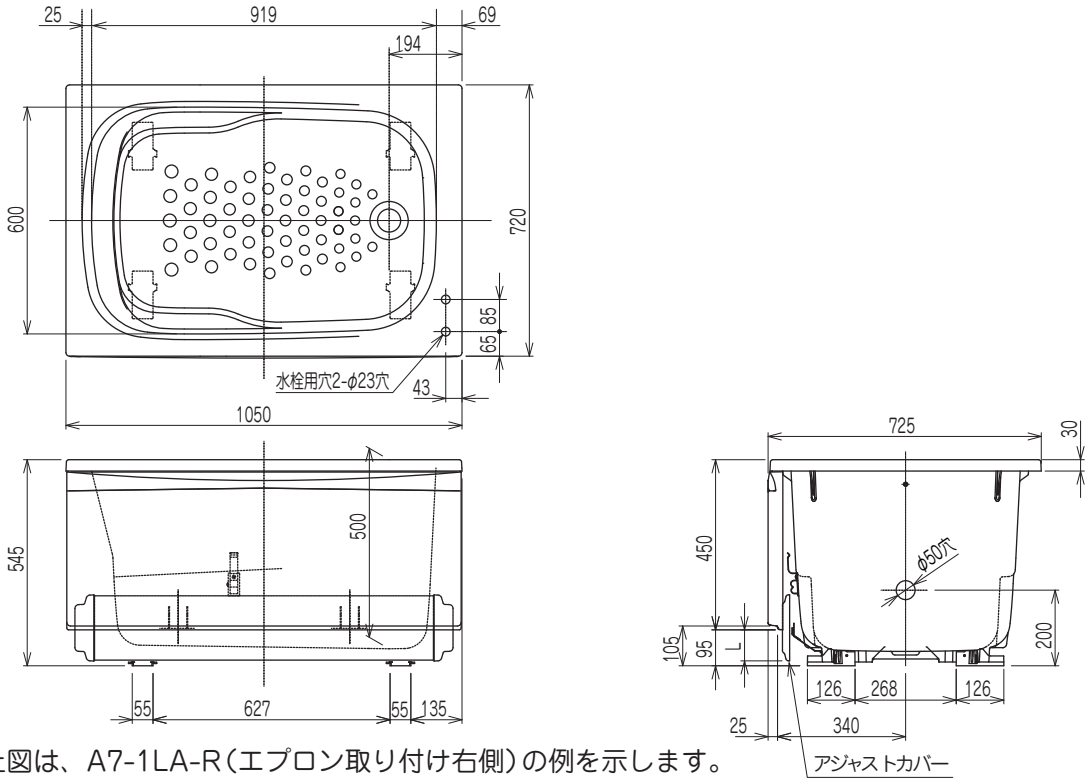
■ 仕　様

型式		HK-1072A7-1L(A)-L/R(-K/-K140) HK-1072B7-1L(A)-L/R(-K)
外形寸法		幅 1050 × 奥行 720 × 高さ 545
満水容量		220L
別売品	シャワーセット※	VSM-22D-L/R（一時止水付），VSM-20-L/R
	フタ※	CL-1002-GR7

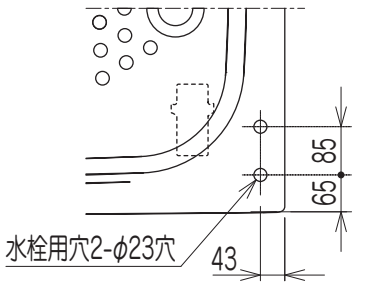
※水栓用穴ピッチ 85mm の場合

■ 寸　法

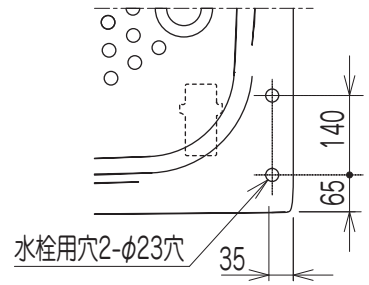
（単位：mm）



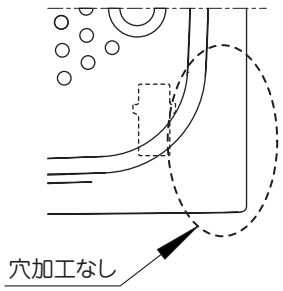
・上図は、A7-1LA-R(エプロン取り付け右側)の例を示します。
・B7-1L(A) は、水栓用穴(2-φ23 穴)は現地加工となります。



シャワーセット取付位置詳細図
HK-A7-1L(A)-R(-K)の場合



シャワーセット取付位置詳細図
HK-A7-1L(A)-R-K140の場合



HK-B7の場合

■ 暖房機能を付ける時に必要な専用部材

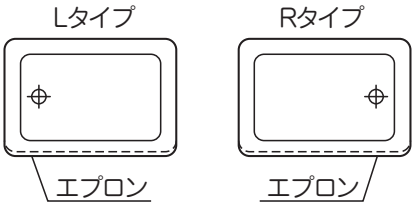
給湯器	WF-S1602AT シリーズ、WF-1613AT シリーズ
切替ユニット	WF-KU-3
暖房端末機	WF-DTS-2
暖房用エプロン	HK-EP102H-WH
端末取付金具セット	WF-DTSK-H1

設　置　に　つ　い　て

■ 設置前のご注意

●浴槽寸法の確認
浴槽寸法、出入口の寸法が浴槽据付・搬入できる寸法か確認してください。

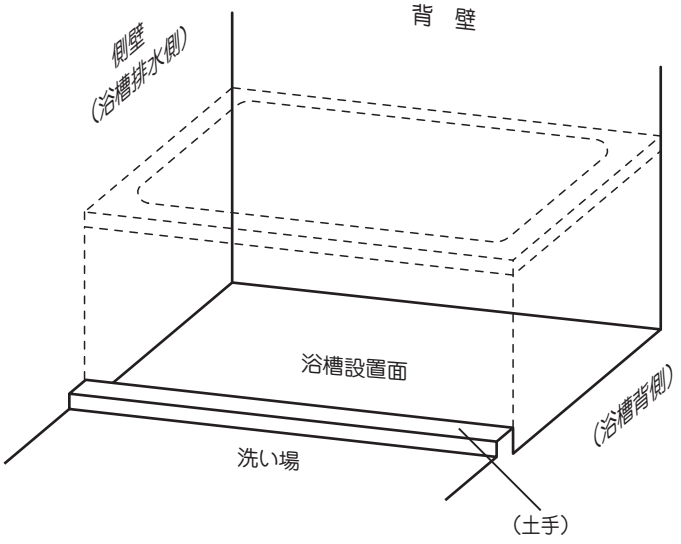
●左右の選定
浴槽には排水口の位置により、右図のようにLタイプ（左）、Rタイプ（右）があります。
据付場所に合わせて機種を選定してください。



■ 設置手順のフローシート

●標準的な設置は次の手順で進めます。

設置形態の決定	
↓	
水栓穴あけ（B7-1L(A) の場合）	（本説明書巻末の当て紙をご利用ください）
↓	
給湯付風呂釜の取り付け	（給湯付風呂釜の設置工事説明書を参照ください）
↓	
浴槽固定金具の取り付け	
↓	
シャワーセット（別売部品）の取り付け	（シャワーセットの設置工事説明書を参照ください）
↓	
浴槽設置	
↓	
エプロン、アジャストカバー取り付け	（アジャストカバー取り付けは 1LA タイプのみ）

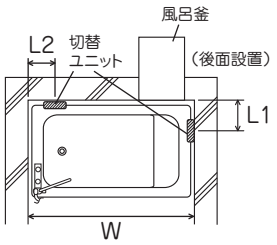


■ 設置形態の決定

・後日、浴室暖房機能を追加するためには、切替ユニットの設置が必要となりますので切替ユニットの設置スペースを考慮した設置形態を選定してください。
・浴槽・給湯付風呂釜・シャワーセットならびに今後設置が見込まれる切替ユニットの位置関係から、下記組合せより設置形態を決定してください。
※浴室幅寸法（W）は、浴槽幅 +10mm 以上必要です。
（設置形態 E、F の場合、浴槽幅寸法は、浴槽幅 +60mm 以上なければ設置できません。）

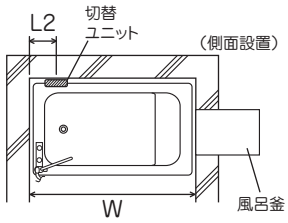
●浴槽形態一覧表

A-1



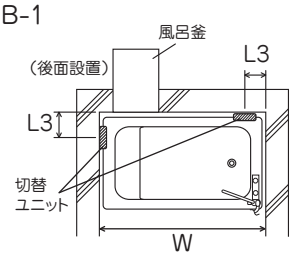
（風呂釜：右、シャワーセット：左、浴槽：左排水口）

A-2



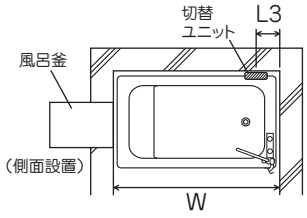
（風呂釜：右、シャワーセット：左、浴槽：左排水口）

B-1



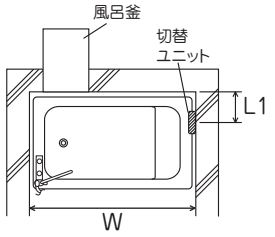
（風呂釜：左、シャワーセット：右、浴槽：右排水口）

B-2



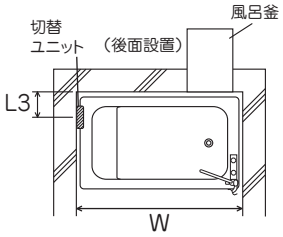
（風呂釜：左、シャワーセット：右、浴槽：右排水口）

C



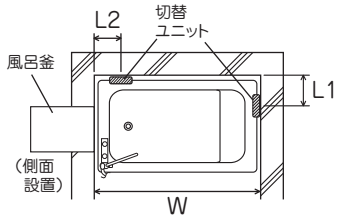
（風呂釜：左、シャワーセット：左、浴槽：左排水口）

D



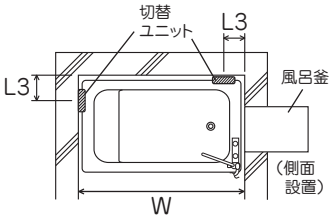
（風呂釜：右、シャワーセット：右、浴槽：右排水口）

E



（風呂釜：左、シャワーセット：左、浴槽：左排水口）

F



（風呂釜：右、シャワーセット：右、浴槽：右排水口）

取付位置(mm)	
L1	290
L2	290
L3	260

●機器の組合せ

設置形態	A-1,2	B-1,2	C	D	E	F
FRP浴槽	HK-1072A7-1L(A)、HK-1072B7-1L(A)					
	-L	-R	-L	-R	-L	-R
浴槽ふた	CL-1002-GR7					
シャワーセット	VSM-20/22D					
	L	R	L	R	L	R

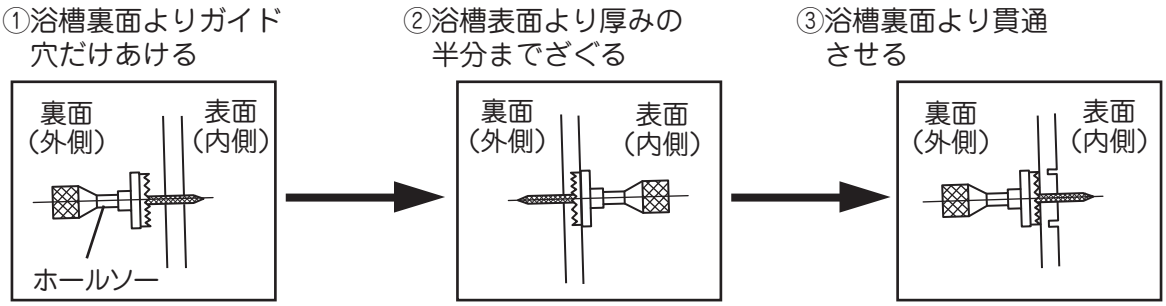
■ 水栓取り付けの場合の穴開け加工及びご注意（B7-1L(A)（現地加工仕様）のみ）

⚠ 注意：取り付け機器の説明書も必ずお読みください。

●穴あけ手順

⚠注意

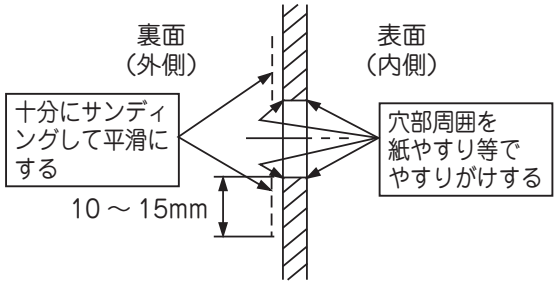
・ガイド穴貫通時、ホールソーが浴槽に強くぶつかるとクラックが生じることがありますので、ご注意ください。
・ホールソーで水栓接続口をあける時は、ホールソーを浴槽に軽く当て、ガイドとなる溝ができてから少しづつ力を入れてください。
・浴槽のコーナー曲面部に穴をあけないでください。
水栓の締め付け不良となり、水漏れの原因となります。
・裏面から一方向に穴をあけた場合、浴槽表面にクラックが生じることがあります。



●穴あけ後、浴槽裏面及び表面の穴あけ部のかど全周のバリなどを紙やすりなどで取り除いてください。
また、裏面に凹凸がある場合は、穴周辺をサンディングしてください。（右図参照）

⚠注意

バリが残っていると水栓の締め付け不良が生じ、水漏れの原因となります。



■ 給湯付風呂釜の取り付け

給湯付風呂釜の設置工事説明書をよく読んで取り付けてください。

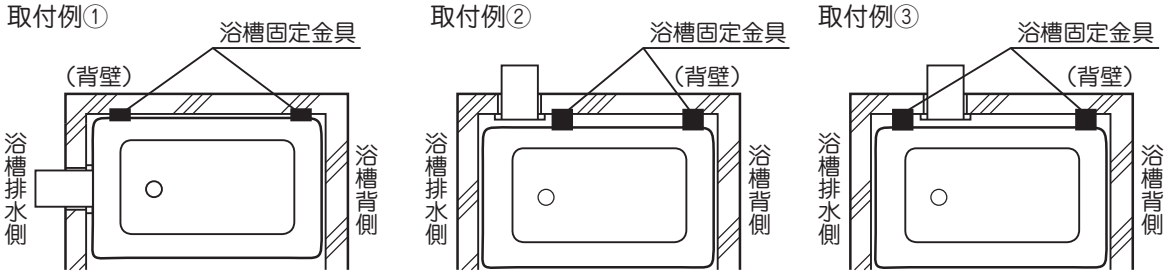
■ 浴槽固定金具の取り付け

＊浴槽の脚下に別売の脚スペーサーやゴム脚を入れる場合、穴位置高さは記載寸法に板厚分をプラスしてください。（別売の脚スペーサーの板厚は50mm、ゴム脚の板厚は3mmです。）

※浴槽固定金具は浴槽本体に同梱されています。

・浴槽を固定するために、浴槽の背壁に2個の浴槽固定金具を取り付けます。
浴槽固定金具は、カベピタ給湯付風呂釜を避けて取り付けてください。（下図参照）

●取付例

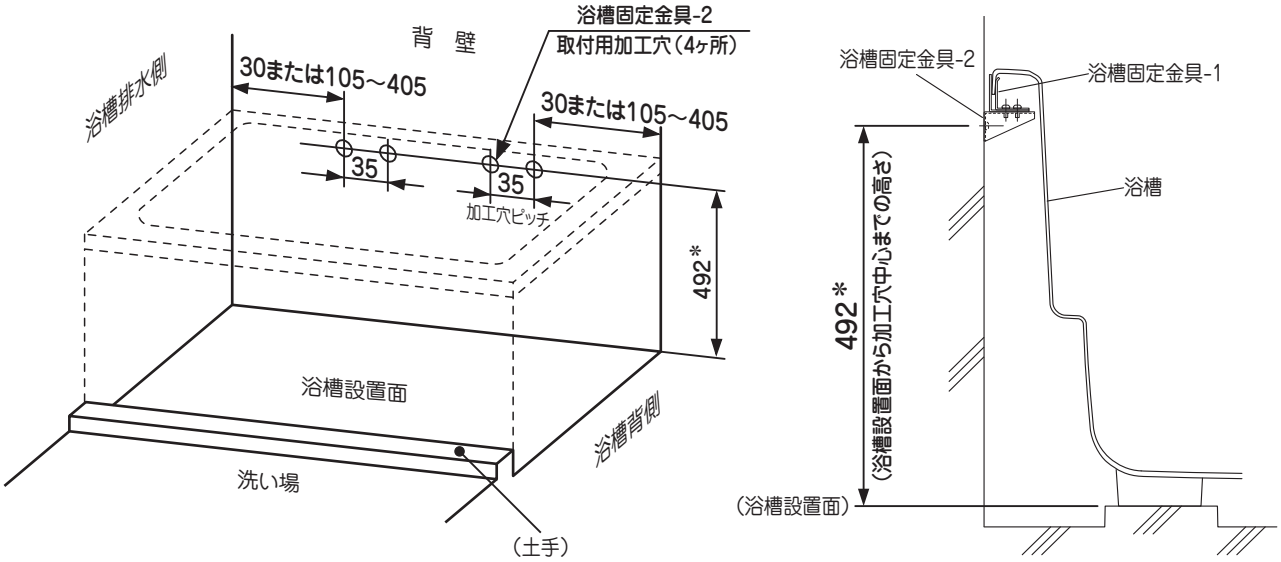


・浴槽固定金具は、次ページ記載の範囲内で取り付けてください。

※カベピタが浴槽背側に設置される場合もあります。
カベピタが上図取付例②の浴槽長辺の反対側に設置される場合もあります。
その場合、浴槽固定金具は左右対称に取り付けます。

●取付範囲（穴加工位置：Lタイプの場合）

浴槽固定金具-2（2個）を壁に取り付けるために、次ページの通り穴加工をします。
（壁材がユニット壁（薄板鋼板壁）の場合は、次ページの取付用加工穴位置にケガキをし、ポンチで芯出しをします。）



⚠注意

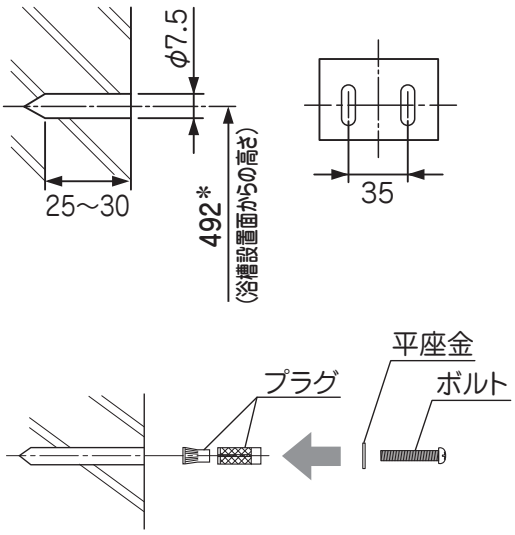
浴槽固定金具を取り付けずに浴槽を設置すると、浴槽が転倒するおそれがあります。
また、指定以外の位置に浴槽固定金具を取り付けると、浴槽が転倒、破損するおそれがあります。

(1) 取り付け準備

●コンクリート壁の場合

φ7.5のドリルを用いてAYボルト取り付け用下穴をあけて、取付穴にAYボルトのプラグを挿入してください。

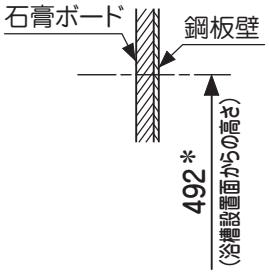
コンクリート壁



●ユニット壁（薄板鋼板壁の場合）

取付部にケガキをし、ポンチで芯出しをしてください。

ユニット壁



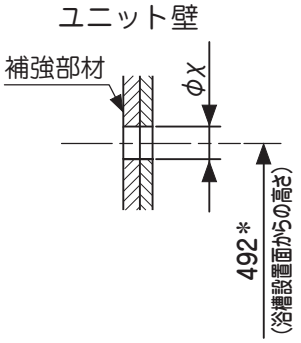
取り付けには、付属のφ4×16薄板用タッピンネジを4本使用します。

⚠ 他のネジを使用すると浴槽固定金具がずれたり、外れたりして浴槽が転倒するおそれがあります。

●ユニット壁（裏打ちの補強部材ありの場合）

木ネジもしくはユニット壁用アンカーを用いて固定します。

ユニット壁



※1. 木ネジを用いる場合は、取付部にケガキをし、ポンチで芯出しをしてください。

※2. ユニット壁用アンカーを用いる場合は、使用するアンカーに適した寸法の下穴をあけてください。（φχ）

ユニット壁用アンカーイメージ図

⚠ 水が穴に入らないよう、穴入口及びボルト（ネジ）頭にシリコンコーキングを塗布してください。

⚠注意

・ユニット壁（薄板鋼板壁）に同梱以外のネジで固定した場合、浴槽固定金具がずれたり、外れたりして浴槽が転倒するおそれがあります。
・ユニット壁に指定以外の径で穴をあけた場合、ユニット壁用アンカーが挿入不良となり、浴槽が転倒するおそれがあります。

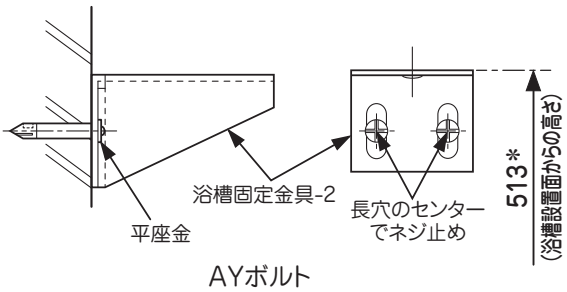
(2) 浴槽固定金具-2の取り付け

・浴槽固定金具-2の長穴のセンターとネジ穴を合わせ、付属のネジ及び平座金で浴槽固定金具 -2 を取り付けてください。

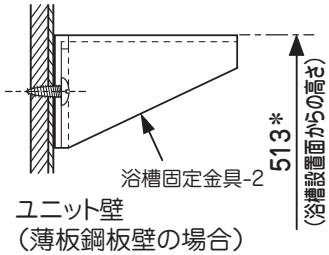
・ユニット壁（薄板鋼板壁）への取り付けの際には、薄板用タッピンネジの先端部を電動ドライバーでユニット壁にねじ込んだ後、手回しドライバーで締め込んで固定してください。

※ユニット壁（薄板鋼板壁）への取り付けの際には、電動ドライバー（インパクトドライバー等）で最後まで締め付けないでください。ネジが空回りするおそれがあります。

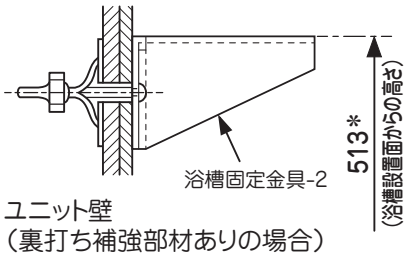
※取り付け高さにズレが生じた場合は、長穴を利用して高さ寸法を調節してください。



AYボルト



ユニット壁
（薄板鋼板壁の場合）



ユニット壁
（裏打ち補強部材ありの場合）

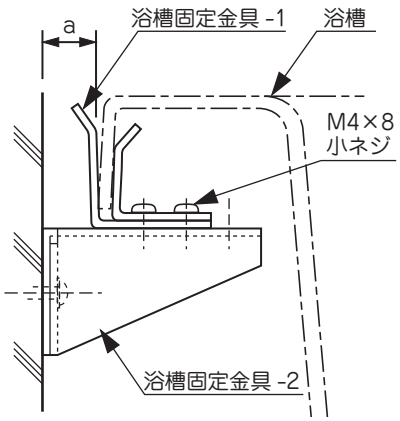
(3) 浴槽固定金具-1 の取り付け

・浴槽と壁との隙間ａを確認してください。
ａ寸法 ＝ 壁から浴槽固定金具-1 の取付寸法となります。
壁面に風呂釜等があり、浴槽と壁との間に隙間ａが生じる場合は、右図に示すａ寸法に浴槽固定金具-1 を合わせ、小ネジで浴槽固定金具-2 に取り付けてください。
壁面と浴槽との隙間が生じない場合は、ａ寸法を最小（5mm）としてください。

◆右図が浴槽固定金具の標準取り付けです。
浴槽固定金具-1 の長穴と、浴槽固定金具-2 のネジ穴との組み合わせを工夫することにより、浴槽固定金具-1 の取り付け位置を調整することができます。

浴槽固定金具 -1 調整範囲：5 ～ 56mm

ａ：浴槽と壁との隙間 = 浴槽固定金具 -1 取付寸法



⚠注意

浴槽固定金具-1 と -2 の接合には、必ず２本の小ネジを使って取り付けてください。
１本の場合、浴槽 固定金具-1 が回転し、浴槽が外れるおそれがあります。

■ シャワーセット（別売部品）の取り付け

⚠ 浴槽の設置形態が左右どちらのタイプか再確認してください。

別売部品のシャワーセットは、付属の説明書と給湯付風呂釜の設置工事説明書をよく読んで取り付けてください。

■ 浴槽設置

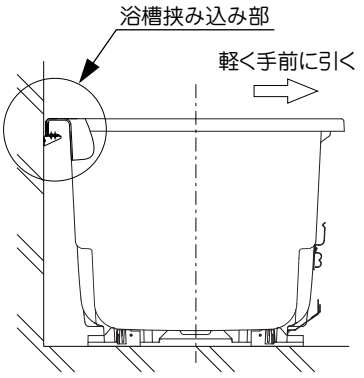
※浴槽を設置する前に、給湯付風呂釜の前カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。

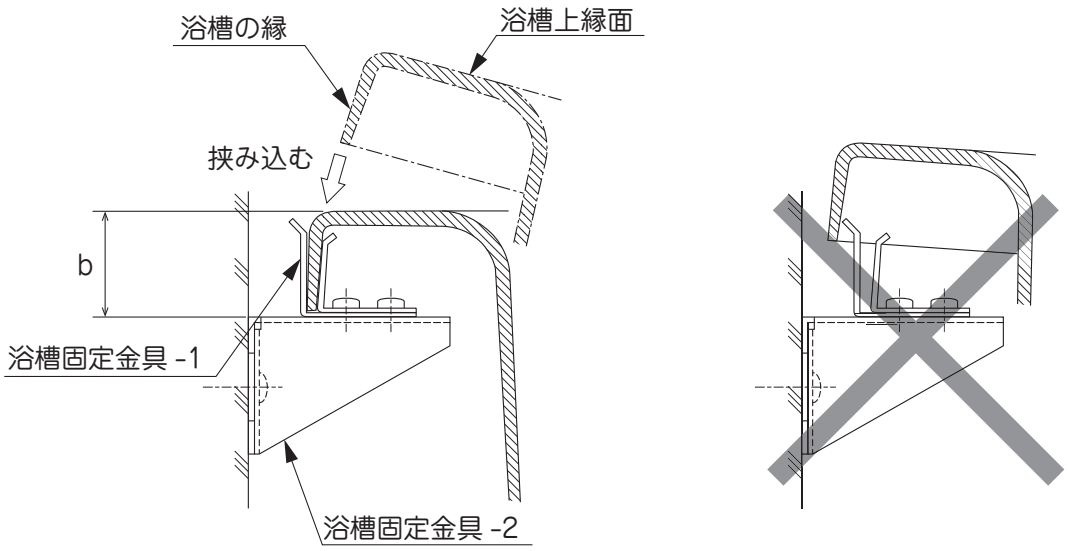
・浴槽を所定の位置に上から静かに設置します。
設置の際、浴槽の縁を必ず浴槽固定金具に挟み込んでください。

※ 設置後、浴槽を軽く手前に引き、浴槽の縁が確実に浴槽固定金具に挟み込まれていることを確認してください。

・脚が浴槽設置面に載っていることを確認してください。

・浴槽上縁面と浴槽固定金具 -2 の上面の距離 b が 31.5 ～ 34.5mm であることを確認してください。
b 寸法が上記範囲外の場合は、浴槽を一旦外し P.9 ～ 10 を参考に浴槽固定金具 -2 の長穴を利用して金具の高さ方向の寸法で調整してください。





浴槽挟み込み部詳細

⚠ 注意

浴槽の縁を浴槽固定金具に挟み込まないと、浴槽が転倒するおそれがあります。
浴槽の縁の浴槽固定金具への差込寸法が適切でないと、浴槽が転倒するおそれがあります。

■ エプロン、アジャストカバー取り付け
［※ 1L タイプ（アジャストカバー付属なし）は（4）へ］

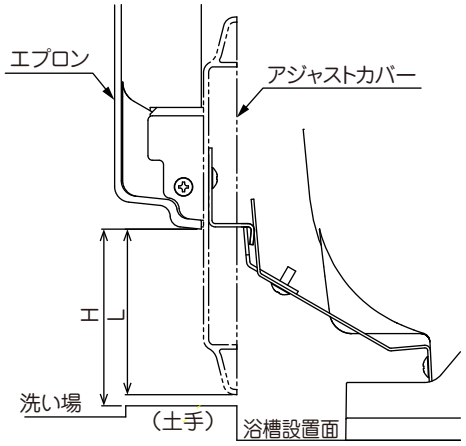
（1）アジャストカバーの取り付け

●エプロンを取り付ける前にアジャストカバーが取り付くか確認します。浴室床の形状によりエプロン下にすき間がない場合、アジャストカバーは取り付けできません。
（4）のエプロンの取り付けに進んでください。

（2）エプロン下部の隙間寸法測定

・アジャストカバーなしでエプロンを仮付けした状態で、エプロン下部から洗い場（土手）までの隙間Ｈを測定します。

※土手に勾配がついている場合、隙間Ｈが一番狭い部分を測定してください。



（3）アジャストカバー取り付け調整

・エプロン下部の隙間Ｈを元に、アジャストカバーのエプロンへの取り付け長さＬを決めます。

アジャストカバー取り付け長さＬ＝エプロン下部の隙間Ｈ－余裕代

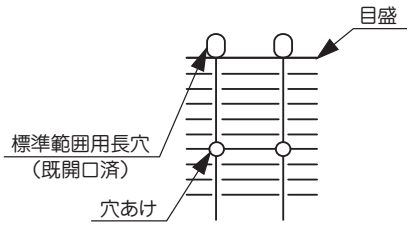
例）　30mm　＝　40mm　－　10mm

・アジャストカバーのエプロン取り付け長さＬの寸法が標準範囲外の場合には、穴加工を行います。

アジャストカバー調整範囲	ビス穴加工	アジャストカバー取り付け長さＬ
標準範囲	不要	70 ～ 85mm
標準範囲外	現地加工要	25 ～ 69mm

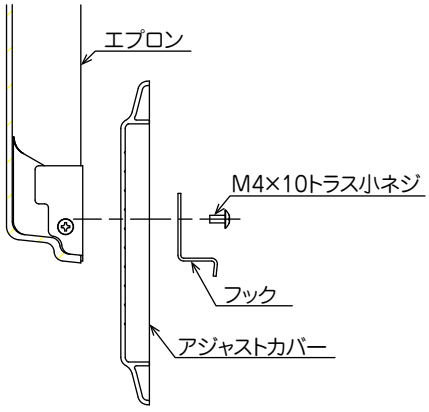
1）アジャストカバーに穴あけ（Ｌの寸法が標準範囲外の場合のみ）

・アジャストカバー裏面の目盛りを目安にして、φ5の穴を4ヶ所あけてください。



2）エプロンにアジャストカバー取り付け

・エプロンからフックを取り外した後、右図のようにエプロンとフックの間にアジャストカバーを取り付けてください。

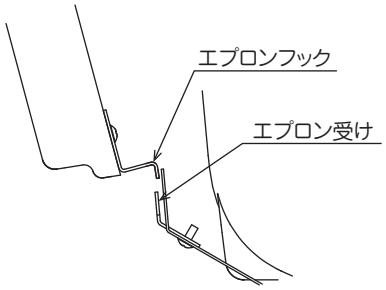


⚠注意

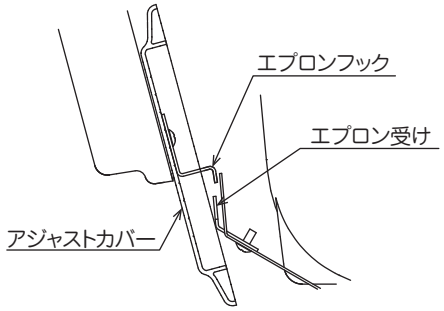
ネジの締め付け過ぎには注意してください。
ねじが空転してフックを固定できなくなる場合があります。
（締付トルク0.98Ｎ・ｍ以下）

（4）エプロンの取り付け

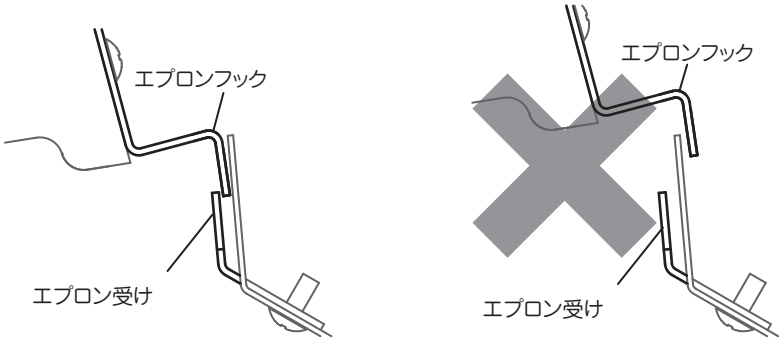
1) エプロン上端を持ち、エプロン受けにエプロンフックを差し込みます。（左右両側）… ①



＜アジャストカバー無しの場合＞

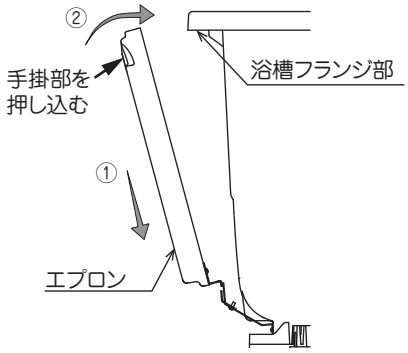


＜アジャストカバー有りの場合＞

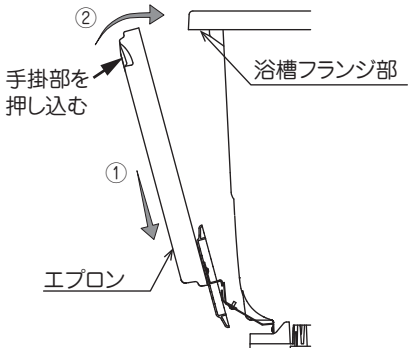


エプロンフック、エプロン受け詳細図

2) エプロン上端を浴槽フランジ部に差し込むようにして、手掛部あたりをさらに押し込み、固定します。… ②



＜アジャストカバー無しの場合＞



＜アジャストカバー有りの場合＞

3) 前後左右に軽く力を加えて外れないことを確認します。

4) エプロン表面に貼付の保護フィルムをはがしてください。

⚠ 注意

浴槽フランジ部に差し込み押し込む際、手掛部あたりを押し込んでください。
エプロン上端に近い所を押すと、浴槽フランジ部に手を挟まれてけがを負うおそれがあります。

エプロン取り付け後、エプロンを前後左右に軽く振り、フックが確実に差し込まれていることを確認してください。
エプロンが外れてけがや、破損の原因になるおそれがあります。

■ 確　認

❗ 設置完了後、必ず確認してください。

(1) 浴槽設置状態の確認
浴槽本体にガタツキがなく、水平に設置されているか確認してください。
浴槽に前後左右の荷重をかけ、浴槽固定金具の固定状態を確認してください。

(2) エプロン固定状態の確認
浴槽フランジ部とエプロン両端にズレがないか確認してください。
エプロンにガタツキがないか確認してください。

(3) 清掃
浴槽内のゴミや異物を取り除いてください。

(4) 水漏れの確認
給水、排水を行い、循環アダプタ接続部や排水栓等から水漏れのないことを確認してください。
給湯付風呂釜の試運転を行い、水漏れのないことを確認してください。

(5) 引き渡し
お客様に正しい使い方をご説明の上、保証書にお買上げ日、型式、販売店名を記入し、
取扱説明書を必ずお渡しください。

※設置後すぐに使用しない場合は、浴槽の水を排水し、給湯付風呂釜への給水元栓、
ガス元栓を閉めます。
また、凍結により機器が破損するおそれがありますので給湯付風呂釜の取扱説明書に
したがい水抜きを行ってください。

■ 設置店様へ

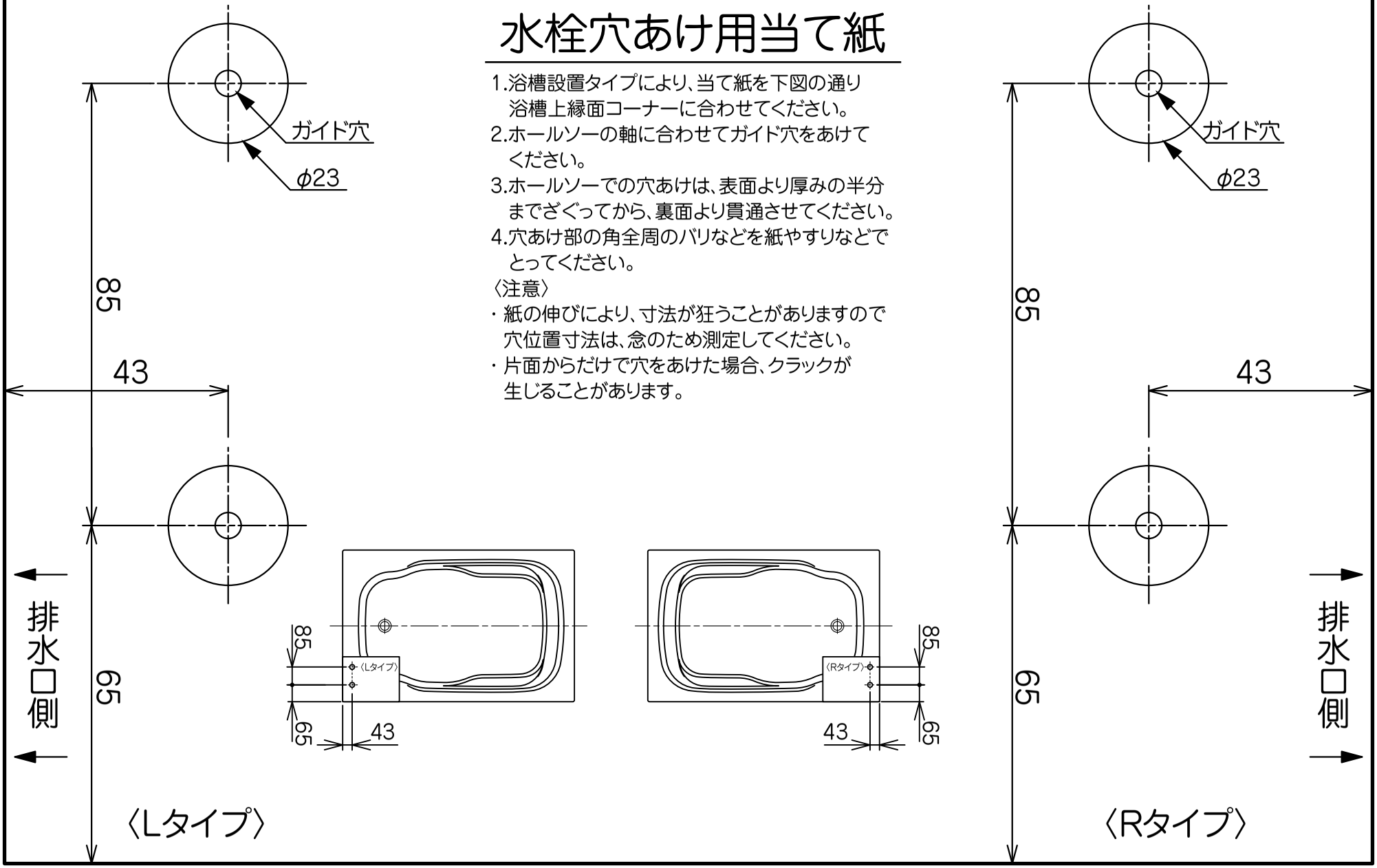
取り替え等で古い浴槽を処分する場合は、浴槽の材質を確認してください。
その後、許可を受けている処理業者に処分を依頼するか、破砕の上、許可された処理場にて処分してください。
なお、行政の条例等で処理方法が定められている場合は、そちらの指示に従ってください。

水栓穴あけ用当て紙

1.浴槽設置タイプにより、当て紙を下図の通り
浴槽上縁面コーナーに合わせてください。
2.ホールソーの軸に合わせてガイド穴をあけて
ください。
3.ホールソーでの穴あけは、表面より厚みの半分
までざぐってから、裏面より貫通させてください。
4.穴あけ部の角全周のバリなどを紙やすりなどで
とってください。

〈注意〉

・紙の伸びにより、寸法が狂うことがありますので
穴位置寸法は、念のため測定してください。
・片面からだけで穴をあけた場合、クラックが
生じることがあります。



株式会社 ハウステック

〒 370-0841　群馬県高崎市栄町 1-1

734S1846BJ